



経営探訪  
Management Report

株式会社  
湯沢バンケットサービス

## 従業員と取り組んだ経営改善が、 主体性と積極性の芽生えに繋がった

従業員の心の引き出しは、  
思わぬアイデアの宝庫。  
意見が言える雰囲気を作りたい。

秋田道湯沢ICを降りてすぐ、右手に佇む「ニュー千寿苑」。昭和54年に創業した宴会場である。このニュー千寿苑を運営するのは、株式会社湯沢バンケットサービス。代表取締役社長を務める久家美由紀さんが創業者である父から事業を引き継いだのは令和元年のことだった。引き継いでまもなくコロナ禍に見舞われた。突如襲った危機を久家さんはいかにして乗り切ったのか、お話を伺った。

売上が2割近くまで激減  
閑古鳥が鳴く状況に愕然

湯沢市の宴会場として、地元の方から親しまれているニュー千寿苑。最大で350名が収容できる宴会場を備え、企業や町内会、部活動などの集まりで利用されている。また、法要や法事の仕出しの事業のほか、昼はランチ、夜は居酒屋スタイルとなる飲食店も併設している。代表を務める久家美由紀さんは、10年ほど前に創業者である父から事業を引き継ぐために転職。実際に経営を引き継いだのは令和元年のことだった。

社長に就任してまもなく、コロナ禍に見舞われた。飲食事業を主体としていたため、その打撃は大きかった。

「店を開けてもお客様が誰も来ない。時短営業や休業を繰り返すしかありませんでした。コロナ禍になる前からあきた企業活性化センターや秋田県よろず支援拠点を活用させていただいておりましたが、今回はすぐに相談しました。相談を受けてくれるだけでも、心の励みでした」と振り返る。

### 部門ごとに利益率を見て 事業を見つめ直した

当センターを活用し、助言を受けて取り組んだのは、部門ごとの利益率の算出と原価率の改善だった。

「それまでは全体の売上と全体の仕入れを元にしていました。それを宴会や仕出し、飲食店など部門ごとに割り出しました。残念ながら時間は十分あったので、従業員も一緒に取り組みました。そのおかげで利益が取れているのはどこなのかははっきり見えるようになりました。もちろん、採算が取れないところは改善しました。」

当初、現場からは不満も聞こえたが、最終的にはやって良かったという意見に変わっていった。

「今は社員が主体性を持って、改善に向けて提案してくれます。取り組み方が変わりました。」

一方で人件費は経費の大きな割合を占める。それでも久家さんは、長年勤めているスタッフに辞めてほしくないという思いから、誰一人解雇しなかった。センターに相談しながら、行政の補助金なども活用して雇用を継続した。



宴会や仕出しにはできる限り手作りの料理を提供。早朝の市場で料理人自ら目利きした海産物を仕入れるこだわりぶり。



湯沢市のふるさと納税には、飲食店で提供しているチャーシューを出品予定。地元の醤油など素材にもこだわりを見せる。



①湯沢インターを降りるとすぐに見える「ニュー千寿苑」。ボリューム満点のランチも人気だ。  
②明るく元気いっぱいの飲食店スタッフたち。コロナ禍で働き方改革も行い、拘束時間の見直しなども行われたという。

### 将来を見据えて取り組む 加工品や新しい企画

現在、かなり客足は戻ったとホッとした表情を見せる久家さん。今、新たに取り組んでいることがあるという。

「コロナ禍が落ち着いたとはいえ、この地域は少子高齢化が進んでいます。来店者を待つだけでは事業は行き詰まってしまう。私たちの強みである調理を活かし、加工品を作って販売したい。今は湯沢市のふるさと納税の返礼品として出品するため、準備を進めています。」

飲食部門では従業員のアイデアで秋田で活動している人気のユーチューバーとコラボした「ラーメンまつり」を開催した。

「開店前から行列ができていて驚きました。市外から来てくださった方もいました。こういうアイデアが社員から出てくるのはとても嬉しい。みんなが楽しく、活発に意見が出せる雰囲気を大切にしたいと思います。」

自由で柔軟な企画や意見が飛び交う。その雰囲気は、久家社長の人柄と、柔らかな笑顔の賜物だろう。



株式会社 湯沢バンケットサービス  
代表取締役社長 久家 美由紀

〒012-0032  
湯沢市元清水4-4-3  
TEL:0183-73-7155  
FAX:0183-73-7156

◎業務内容  
総合宴会場、葬祭業、仕出し、居酒屋、レストラン他